

なたの通信



2005年

青森県西津軽郡鰺ヶ沢町一ツ森地区にある白神自然学校。
同地区にあった小学校跡を再利用した。



木のぬくもりが懐かしさを感じさせる

白神自然学校概要

白神自然学校一ツ森校は2003年7月29日青森県から特定非営利活動法人として認証を受け、事務所を青森県西津軽郡鰺ヶ沢町大字一ツ森町字上禿88番地2に置き、2003年10月26日に開校式を行い自然学校としてスタートを切った。

この自然学校の目的は、自然学校として白神山地の山、川、海の自然を創造的に活用した自然体験の活動を実施すること。また、ゆとり教育・環境教育のリーダーを養成し、地域の地域経済振興のために森林整備、農村振興、自然公園の整備などに幅広い森林保全作業も行い、国土の健全な発展に寄与することを目的として発足した。

特定非営利活動として、次の活動を実施する。

- 1：環境の保全を図る活動
 - 2：社会教育の推進を図る活動
- (事業の種類)

上記の内容の目的を達成するための事業として

下記の事を行う。

- 1：白神山地の自然体験の実施
- 2：白神山地の有効活用のため、地元講師育成活動
- 3：白神山地エコロジー体験のプログラム開発
- 4：人材養成講座並びにガイド養成講座の実施
- 5：グリーンツーリズムの推進
- 6：自然教育のための木工製品の開発
- 7：自然公園のガイド及び環境の整備
- 8：森林の整備事業並びに広葉樹の育林事業
- 9：自然学校のねらい

白神山地の世界遺産になった経緯を学ぶことにより、自然保護運動の原点を学ぶ。
里山の生活、文化に触れ、体験することにより、白神山地と里山の人々との関わりを学び、自然を深く理解する。

グリーンツーリズムを推進し、地域振興を進め、自立した白神の里山郷を目指す。



代表 永井雄人

ながい かつと 1952年 青森県
大鱒町生まれ東京経済大学卒、青森大学
大学院環境科学研究科在学中。白神山地
を守る会代表 白神の自然保護活動を展
開中。自然活動体験推進協議会第一種ト
レーナー。

白神自然学校メニュー

1) プナの森授業 < 1年間実施 >

○半日授業

授業料	大人	2,000円
	大学生以下	1,500円
保険料は別途申し込み (@500円)		

開校式

1時間目

白神山地の歴史、里山文化を学ぶ (50分) → 教室授業

2時間目

青秋林道歴史資料コーナーとまたぎ資料コーナーの見学 (30分)

3時間目

実習授業【山菜料理、薪割り、炭焼きなど】(80分)

昼食 ※希望者には、おにぎり2個と汁物あり (500円)

1日授業

午前中は「半日授業」と同じ

4時間目 季節の山・川・海の体験コース

くろくまの滝一周コース

一ツ森登山コース

4月～11月 (春～秋期間実施)

赤石川 / 川遊びコース

その他里山の体験コース

スノーシューでのトレッキング 12月～3月 (冬期間実施)

閉校式

授業料	大人	4,200円
	大学生以下	3,700円
昼食代、バス代、ガイド代を含む		
保険料は別途申し込み (@500円)		

2) 自然学校施設利用計画

1 サイクリング用の自転車無料貸し出し (25台限定) 2 スノーシューの利用

3 テント張り (体育館)、キャンプファイヤー (グラウンド)

3) 実習授業 (自然学校内)

・山菜料理教室 ・木こりの実習 (薪割り、火おこし、飯ごうすいさん)

・スキーやトレッキングのレクチャーなど

4) 季節の山・川・海の体験コース (自然学校外)

・田植え ・畑仕事 ・稲刈り ・山菜採り ・沢登り、プナの森での遊び ・プナの苗づくり

・シャケのつかみ取り ・花ごよみ / 赤石溪流沿いの四季折々の植生散策

・ホタル観察会、モリアオガエル観察会、カブトムシ観察会 ・春の歩くスキーで白神トレッキング

・花観察会 (水芭蕉・カタクリ等の咲いてある場所にハイキングコースをつくって案内) など

5) 植樹体験コース < 6月～7月初旬 > < 10月～10月下旬 >

6) 森林ボランティア <4月~10月>

- | | | |
|------------------|--------------------|---------------|
| 1 下草刈 | 2 地ごしらえ | 3 ウサギの食害ネット張り |
| 4 ブナの種拾い(実った年のみ) | 5 ブナの苗床づくり(実った年のみ) | |

7) 自然学校施設メニュー



林道建設当時

・常設展示は「白神の四季展」

・液晶ビジョンを使った春秋林道問題、「なぜ白神山地は残ったのか」を通じ、当時の資料をもとに学ぶ授業である。この地区のマタギ達が開発から白神山地を守った人達だ。だから、ここに来なければ知ることができないことがいっぱいある。地元の人達が語る白神の話から、白神山地プロジェクトXの真実の歴史が心に焼き付けられる。

・マタギの液晶ビジョン：白神山地は、昔からマタギの里として人々が関わってきた山である。特に、このひとつもり一ツ森地区・おおしかり大然地区は、赤石マタギが住むマタギの里だ。その狩猟の歴史は1000年を超えるといわれている。白神の山を知り尽くした現地の山の達人が、あなたのところを核心部分へと誘う。

8) 【白神旬の味】のお届け

白神自然学校は、白神の里で採れた新鮮な山菜や野菜・魚類の加工品を販売し、白神の里の味と香りを届けます。是非立ち寄って下さい。特産品の酒まんじゅうは大好評。

※会員の皆様には、一ツ森の里山で採れた山菜(春のお届け)・野菜(秋のお届け)のどちらかお好きな方を選んでいただき、お届けします。

9) ボランティアガイド養成

自然学校では、白神山地のブナの森に関する基礎知識を年5回、講義する。

5月~9月毎月1回、第3土曜日13:00~17:00 参加費：1回 1,000円

10) クマゲラの棲むブナの森復元基金

11) 「白神山地ブナ植樹フェスタ in 赤石川」の事務局

ブナの植樹を行うため、ブナの苗床を管理、運営している。下草刈や森林ボランティア活動に寄与している。植樹祭は6月26日~27日の2日間。



■会員募集

- (1) 正会員 年会費5,000円(初回金なし)
春は山菜、秋は里山の野菜【白神旬の味】をお届けします
- (2) 賛助会員・企業・団体を対象
年会費1口1,000円以上(1口につき産直をお届けします)
- (3) 自然学校 協力者・企業募集中

この自然学校は、皆様の応援に支えられて運営しています。今、自然学校が必要とし、応援してもらいたい内容については、当会のホームページ上でその都度公開していきますので、是非申し込み、ご協力をお願いします。

会員並びに協力者、協力企業には、自然学校の学校通信「なため通信」を届けます。

■会費・購読料の振込み先

郵便振込み先：02280-3-99083 白神自然学校

青森銀行鱒ヶ沢支店：1008420

白神自然学校 代表理事 永井 雄人

■書籍等の発行・紹介

・エコロジーマニュアル『白神 ブナの森博物誌』 ¥1000

- ・ハンドブック『白神山地入山心得八箇条』 ¥315
- ・白神山地ガイドマニュアル ¥315
- ・岡島成行『自然学校をつくろう』(山と溪谷社) ¥1200
- ・根深誠『白神山地をゆく ブナ原生林の四季』(中公文庫) ¥980
- ・佐藤昌明『白神山地 一森は蘇るかー』(緑風出版) ¥2310

●お土産に世界遺産「白神山地」の水はいかがですか。

●赤石川の金あゆ寿司はいかがですか(要予約)。

●白神の清流から作られた「白神源流米」はいかがですか。

いずれも自然学校で申込み下さい。

白神自然学校からの活動報告

○オーライニッポン大賞受賞



白神自然学校一ツ森校が、第2回オーライ！ニッポン全国大会で、「オーライニッポン大賞」を受賞した。受賞の理由は、世界遺産である白神山地の自然に触れながら自然の大切さを知るといふ環境教育を目的として、平成15年に地元の小学校の廃校を活用した自然体験型学校を開校し、修学旅行生や首都圏などからの都市住民を対象に、単なる観光ではなく山・川・海の豊富な自然を活用してさまざまな体験や農産物等の販売、植林や間伐などを地元住民の協力を得ながら実施しており、交流人口の拡大とともに就労の場の創出が図られているからであった。このように、世界遺産・白神山地の自然保護の取り組みに環境教育を結びつけた活動は、都市住民に留まらず、地域住民の自然との交わりを促進し、同時に、地域経済の活性化、地域振興につながる実績をあげている点が評価された。

表彰式は2月23日(水)「第二回オーライ！ニッポン全国

大会・(財)都市農山漁村交流活性化機構、農林水産省、毎日新聞社との共催」の会場で(イノホール・東京千代田区)で行われ、代表の養老孟司東京大学名誉教授から永井代表に授与された。全国の都市と農山漁村の共生、交流に関する優れた取り組みをした団体とともに表彰された。この賞は国民への新たなライフスタイルの普及定着を図ることを目的として平成15年度から実施しているもので、青森県では初の受賞となった。

財団法人 都市農村漁村交流活性化機構(オーライニッポン大賞の報道)

<http://www.kyosei-tairyu.jp/award05/index2.html>



○コージツ登山教室白神山地スノーシューハイク



2005年2月22日～23、1泊2日で十二湖と赤石渓流をスノーシューで歩くツアーを開催。22日の森田村～鯉ヶ沢町は前が見えないぐらいの地吹雪だったのに、能代市・岩崎村方面はどちらかというと快晴の日であった。

参加者12名は22日の午前8時30分大館北空港に届き、十二湖に11時ごろ到着、サンタランド白神で食事をとり、雪面の十二湖にスノーシューハイクに出かけようとした。

しかし、十二湖は数日前の雨で雪が凍っており、インナー付きのブーツで歩ける状態で、ストックを持ち徒歩で十二湖のブナ林ハイクに出発。

途中、この時期しか見られない広葉樹の枝の特徴や、湖面が凍結している湖としていない湖の違いの説明を受けながら青池に向かう。夏場とは違った青池のなまり色の静寂さと、

風が吹くとできる小さな波が、小石を投げ入れた感じがして参加者は一様に感動したようです。また、ブナの原生林ではアカゲラ等の巣穴を見つけては冬ならではの動物たちの足跡などの説明にも耳を傾けていた。

最後は、翌日に備えてスノーシューのテストをしたが、ちょっとした坂を見つけてはお尻で滑って、重心にかえったかのような歓声をあげて楽しんだ。その後は「不老不死温泉」で、冬の日本海に沈みゆく夕陽を眺めた。

翌日は、天候が一転。暴風警報が発令されたため予定を少し変更し、まずはスノーシューを履いて吹雪の山歩き体験ツアーをした。最初は吹雪いていたが、歩いているうちに雪もやみ、参加者は雪深い赤石川渓流に入ってしまった。いよいよ雪崩の危険性のない場所でスノーシューの威力を試す。傾斜45度の雪壁をスノーシューでよじ登ることに挑戦し、見事、参加者全員が難所をクリアできた。

下りはお得意のお尻での雪上滑走だ。前日の練習の成果かどうか、かなり手馴れたようだった。

また、雪の中で味わう一杯のコーヒーが振舞われ、至福の時を味わうことができた。自然学校にもどってからは、地元の方との会話を楽しみながらの昼食に参加者はご満悦。

その後、液晶ビジョンでマタギの歴史や暮らしを学習したり、校庭で雪上宝物探しゲームをし、意気軒昂に参加者は帰路へついた。

○ 青森大学大学院実習で白神の冬の自然を楽しむ

2005年2月22日～23日、1泊2日の予定で青森大学環境教育大学院生の実習が行われた。メインの学生が、お客様役の学生を連れエスコートするというツアー学習の1部として自然学校を利用した。

今回の研修テーマは、「克雪から親雪へ - スノー・イズ・ビューティフル - 」。豪雪に苦しむ青森で、雪害を克服するほかに、それを乗り越えて雪と親しみ、さらに雪を利用する生活の模索をテーマとした研修であった。

学校に到着後、すぐに雪かきを体験。除雪のために入ったブルドーザーで押された雪は硬く凍りき、人力での除雪が思うようにはかどらない。しかし、若さと地元の人たちの「雪かたづけの知恵」を借りたら1時間ほどで作業を終了することができた。

その後は地元の郷土料理「けの汁」を住民の方々に教わり。約7、8種の野菜をじっくり時間をかけて煮込み、味噌で味付けした。砂糖などはほとんど使わず、野菜のうまみや甘味を利用した津軽の郷土料理として有名な一品である。そのほか、冬でなければ味わえない一ツ森地区の郷土料理もいっしょに作る実習を行った。夕食時には地元の方とも懇談し、5名の婦人会の方々に参加してもらい、雪の生活の苦労話や雪害や利用法などを探った。一ツ森に暮らして楽しいこと、冬の暮らしの大変さなど、学生の質問に対し、「一ツ森は水がおいしいし、冬は雪かきがあるから大変だけど、地域がみな仲良しだから、作業はみんな手伝ってくれるから楽しい」など、予想を覆す地元の暖

かな結末に、学生たちは心温まる思いだった。

夜は、地元の方と別れ、学生たちは冬のキャンプファイヤーを楽しんだ。そこには、フキコ姫と使いの鬼に扮した学生が降臨劇を演じ、暖かい焚き火で参加者の邪念を振り払った。



翌日、学生たちは片づけをし、自然学校を後にした。

彼らはその後、浅虫の雪を使って夏の冷房に利用する民家や青森大学の雪室を見学した。

参加した学生たちの感想は、「雪国は雪害にみまわれる。しかし、そこに生活する人々は、昔から雪との関わりをなくした生活はない。雪は生活の一部」などと感想を述べていた。学生たちは、今回の白神自然学校の実習で得たものを、次の環境教育の課題に有効活用していきたいと自然学校を後にした。

今後の行事予定と参加者募集

○ 白神の百花爛漫花見ツアー

実施時期：2005年5月3日～4日（1泊2日） 交通機関：ワンボックスカー 参加人数：8人以内（ガイド含む10人）

ツアー場所：暗門ヴェレツジから津軽峠までの白神ラインを歩きます。

参加費用：20,000円（宿泊費と交通費・食事代分・保険代含む） 宿泊場所：民宿

白神案内人 白神自然学校 代表 永井雄人 白神自然学校事務局長 棚橋 淳 スタッフ1人

主催：白神自然学校

○ 2005年 春の白神山地エコロジー体験ツアー

今回の春のエコロジー体験ツアーは、秋田県側から世界遺産の核心地域を望むツアーです。白神岳、岩木山、そして県境の二ツ森の眺望が楽しみのひとつです。

実施時期：平成17年6月11日～12日（1泊2日）

交通機関：マイクロバス1台使用

参加人数：20人以内（ガイド・スタッフ含め24人） ツアー場所：真瀬岳（八森村）コース 片道2時間30分

参加費用：20,000円（宿泊費、交通費、食事代4食分、保険代、入浴代含む） 宿泊場所：検討中

案内人：白神山地を守る会 永井雄人、白神自然学校 他スタッフ1人

共催：「NPO 白神山地を守る会」「白神自然学校」

○ 第4回白神山地ブナ植樹フェスタ in 赤石川

Beech Planting Festival in The Shirakami Mountaints, Akaishigawa Executive Committee



白神山地ブナ植樹フェスタ in 赤石川実行委員会

《実行委員会》白神山地守る会 鱒ヶ沢町役場 その他
共催：青森県・津軽森林管理署・フェリシモ・日本財団・世界自然保護基金ジャパン・青森県リサイクル事業組合
モリタカバン・白神農協・津軽森林組合・その他

《参加費》一般 3,500 円 中学生以下は 3,000 円
ブナ苗木 2 本、昼食（おにぎり 2 個と飲料、マイクロバス往復、保険代、パスポート代を含む）

《開催日程並びに時間帯》

開催日：2005 年 6 月 25 日（土）1 日間

場所：赤石川上流域、津軽森林道域

日程：午前 9：30 現地集合 10：00 開会 セレモニー 30 分 10：30 植樹・下草刈りを午前中実施
午後 12：00～13：30 昼食（おにぎり汁物のサービス有り） 13：30 より、各コース毎散策

1：津軽森散策コース（1 時間 30 分）2：奥赤石ブナ遺産資源保存林散策コース（1 時間 30 分）

3：クロクマの滝散策コース（2 時間）4：津軽峠散策コース（津軽峠の下も含む）（1 時間 30 分）

《シャトルバスの運行》

朝 7：30 鱒ヶ沢町役場の駐車場に集合（自家用車等） 7：35 鱒ヶ沢町駅 8：00 白神大然公園前からバスが出発予定
（有料で往復、帰り各コース経由して戻ってくる） 午後 17：00 を予定 解散

現地は駐車場スペースが少ないためシャトルバスを運行します。なお、2 日目の 6 月 26（日）は鱒ヶ沢町のグリーンツーリズム企画がいっぱいあります。ぜひ、ご参加ください。また、赤石溪流の「白神自然学校一ツ森校」にもお立ち寄りください。

参加申し込み、問い合わせ先：白神山地ブナ植樹フェスタ in 赤石川実行委員会

・ 宿泊・交通・農林漁業体験についてのお問い合わせ

鱒ヶ沢町役場 企画課内

TEL：0173-72-2111（代） FAX：0173-72-2374

e-mail：kikaku@ajigasawa.net.pref.aomori.jp

〒038-2792 青森県西津軽郡鱒ヶ沢町大字本町 209-2

・ 白神山地ブナ植樹フェア in 赤石川についてのお問い合わせ

白神自然学校一ツ森校 事務局

TEL：0173-82-7057（FAX 兼用）

URL：<http://www.r20.7-dj.com/~econet/>

e-mail：econet@r20.7-dj.com

〒038-2723 青森県西津軽郡鱒ヶ沢町大字一ツ森字上禿 88-2

○ 2005 年 夏の白神山地エコロジー体験ツアー

実施時期：2005 年 7 月 16 日～18 日（2 泊 3 日）

交通機関：ワゴンとジープ 2 台使用

参加人数：10 人（ガイド・スタッフ 2 名含む 12 人） ツアー場所：奥赤石川林道コース

参加費用：20,000 円（宿泊費、交通費、食事代 3 食分、保険代、入浴代含む） 宿泊場所：テント泊

案内人：永井雄人、棚橋 淳、運転手は下田勝太郎。

共催：「NPO 白神山地を守る会」「白神自然学校一ツ森校」

○ 疎開交流体験ツアー（青森県鱒ヶ沢町一ツ森地区）

世界遺産・白神山地の自然がいっぱいの自給自足の地で、安心、安全な疎開先を見つけませんか。

ゆたかで美味しい米、野菜、山菜、キノコ、水などを求め、「ただいま」と言って出かけて来てみませんか。

鱒ヶ沢町では山、川、海から獲れる新鮮な食材と、あなたとあなたの家族の安らぎの空間を提供します。

実施時期：2005 年 7 月 16 日～18 日（2 泊 3 日）

集合場所：7 月 16 日 午後 1 時 青森駅八甲田丸前集合。新幹線・飛行機・夜行バスでの参加が可能です。

主催：白神自然学校一ツ森校

○ ふるさと交流ツアー

白神の里は皆さんの心のふるさとです。白神山地は人を簡単には寄せつけません。それは逆に、自然が豊かな証拠です。私たちはその自然に頭を垂れ、ほんの少しだけ恵みをもって生かしていただいています。そんな自然の王国、白神の里に泊まり、里の人たちと交流してみませんか。

実施時期：2005年9月17日～19日（2泊3日） 障害者の方の受け入れについてもご相談ください。

集合場所：午後1時 青森駅八甲田丸前集合。新幹線・飛行機・夜行バスでの参加が可能です。

主催：白神自然学校一ツ森校

○ 2005年 秋の白神山地エコロジー体験ツアー

秋のエコロジー体験ツアーは、春秋林道建設問題の歴史とブナの巨木を観て歩くとともに写真撮影をするツアーです。春秋林道の舞台となった旧弘西林道を西目村から、岩崎村に突き抜けるツアーとなります。白神山地がマタギたちの生活権を守る闘いによって守られた、世界遺産の歴史を深く理解できるツアーです。

実施時期：2005年10月8日～9日（1泊2日） 交通機関：マイクロバス1台使用

参加人数：20人以内（ガイド・スタッフ含む24人） ツアー場所：然ヶ岳と茶白山コースの登山

参加費用：18,000円（宿泊費、交通費、食事代4食分、保険代、入浴代含む） 宿泊場所：未定

案内人：永井雄人、他スタッフ1人

共催：「NPO 白神山地を守る会」「白神自然学校一ツ森校」

●参加申し込み・問い合わせ先

白神自然学校一ツ森校 TEL&FAX：0173-82-7057 e-mail：econet@r20.7-dj.com

〒038-2723 青森県西津軽郡鰺ヶ沢町大字一ツ森町字上禿 88-2

なため通信 創刊第2号

発行日 2005年5月1日

発行所 白神自然学校一ツ森校

〒038-2723 青森県西津軽郡鰺ヶ沢町大字一ツ森町字上禿 88-2

TEL0173-82-7057

発行責任者 永井雄人

編集責任者 丸谷 馨